

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

社会福祉法人 こぼと会

あおぞら保育園

乳児保育

昨年度に引き続き、子どもの主体性を育む為に丁寧な育児行為を目標に取り組む。丁寧な育児行為とは？という点から改めて考える事で、子どもの主体性を育むために大切な事を職員同士で共有でき、また理念に基づいているということも理解に繋がる1年となった。その成果も各年齢でそれぞれ見ることができ、1年間の活動を通して子どもたちの主体性を育むことができた。

幼児保育

コロナ禍の中で、「子どものために」何ができるかを考え、保育を行った一年であった。具体的には、年長児からマスクの着用を始め、マスクケースを支給し、管理の練習をした。食事の際に、パーテーションと黙食を促し、感染予防の対策を行った。年中・年少にも食事の時に、パーテーションやマスクの着用など、感染予防の対策をできるだけ行った。年長は、同じ法人の学童保育クラブに遠足に行き、就学後のイメージができるようにし、食育ではおにぎり作りをするなど、新しい活動を取り入れ、子どもたちが経験できることを増やした。年少・年中は例年同様秋から年齢別活動を行い、「行事に向けて」や「年長に向けて」の活動を行った。

地域向け事業

① 一時保育

今年度はコロナ禍の中一年を通して需要の急激な落ち込みに苛まれる年となった。職員、パートと隔てせず、環境整備や他クラスの応援に積極的に対応してくれた事は大いに評価できる内容である。来年度以降の状況により難しい課題に直面しながらも大切な職員を守るための努力をしていかななくてはならない

研修・講習

● 職場内研修

・「丁寧な育児」をテーマに、自己の振り返りから「待ち椅子」の意味をグループワークで話し合う。「丁寧な育児=理念の体現」であることを伝えた上で、理念を理解できるように行動指針についての説明を行った。行動指針を基にクラスで話し合うようにし、理念の理解を深めていくきっかけとなった。

● 島田療育センター作業療法士研修 年6回

昨年度に引き続き、「反射」をテーマにした講義と、保育中の様子を観察して頂き、療育的視点からのアドバイスを頂く。職員の発表では、時間を意識した中で伝える事を繰り返したことで、要点をまとめて話せるようになった。また、子どもたちの記録も継続して行え、園の財産として今後活用していきたい。

	研修名
職場研修	職場内研修 ・理事長研修毎月 ・コンサルリーダー研修（講師：深代氏）
	島田療育センター作業療法士研修 年6回
講師派遣	無
職員派遣	多摩市保育協議会研修 (主任保育士会、栄養士会、看護。保健師会、障害児会)

(ロ)延長保育契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1時間	17	17	17	18	18	18	18	18	18	19	18	18	214
2時間	6	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	84
	23	23	23	25	25	25	25	25	25	27	26	26	298

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳男児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳女児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(二)一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日	32	10	22	18	8	19	19	9	41	24	25	48	275
一日	89	70	61	81	83	91	91	70	80	72	57	159	1004
	121	80	83	99	91	110	110	79	121	96	82	207	1279

定期利用

定期 3日	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	22
定期 4日	0	0	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	22
定期 5日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(ホ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

二期 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎宗憲医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

(ト)安全管理

毎月 避難訓練

(チ)保護者会

4月 9月 2月

(リ)一日体験入園

中止

(ヌ)行事

4月	入園式、保護者会	11月	芋ほり(中止)
5月	遠足(中止)	12月	子ども会
6月	歯科検診		
7月	プール開き	1月	新年子ども会
	お泊り会	2月	
9月	防災引渡訓練		保護者会(各クラスのみ)
	保護者会		
10月	運動会(園内)	3月	ひな祭り
	遠足		お別れ遠足
			卒園式
			進級

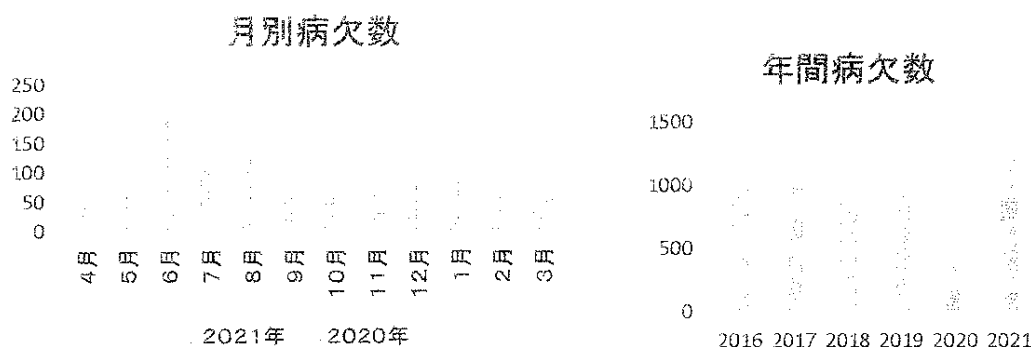
毎月の行事

誕生会・アート指導・お茶の稽古・

保健考察

病欠状況

昨年度は年間416名と例年に比べて半数程度の病欠数になっていたが今年度はかえって例年より多い1233名となった。年間を通して病欠数が多くなっているが、昨年度病欠が少なく感染症の免疫が付きづらい状況であったためか、1歳児クラスで5月はアデノウイルス6月はRSウイルスの大きな流行があり病欠数が増えている。また、冬から風邪症状の園児が増えていき2月には新型コロナウイルスに15名が罹患した。新型コロナにより延べ222名の病欠があり、その分例年より200名程度多い病欠数になったと思われる。



新型コロナウイルス

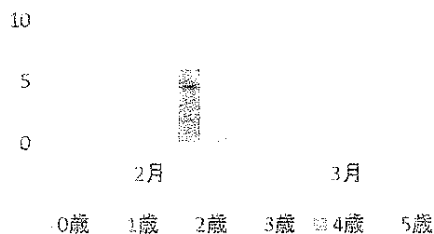
新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度から継続して様々な対策を行った。さらに、変異株(オミクロン)による市内保育園、幼稚園、小学校での発生数が増えた事に考慮し、1月からは幼児クラス以上のマスク着用をお願いした。以前から行っていた対策(食事時のパーティション・午睡時の配慮等)と共に行うことでより強い感染対策となった。

2月を中心に園児の罹患者が15名でた。多摩市と相談しながら濃厚接触者の特定とPCR検査の実施をおこなった。

2クラスが休園となったが大きな混乱はなく保護者の理解を得る事ができ感染拡大を防ぐことができた。

新型コロナウイルスに関しては変異株の出現等に対応が随時変化していくため今後も情報収集をしながら感染対策に努めていく。

新型コロナウイルス 罹患患者数



事故報告

今年度の事故件数は7件あり例年と特に変わらない件数だった。
 内容としてはケガが多くみられたが重症のものはなく、すべて通院数回で終了となるものであった。



毎年数件はでている肘内障の事故が今年度は1件も起きなかった。
 保育者が丁寧に対応しているためと思われるが、園児の既往歴なども確認しながら引き続き注意していく。

事故内容	件数
口のケガ	3
蜂刺され	1
目周囲のケガ	1
手足のケガ	2

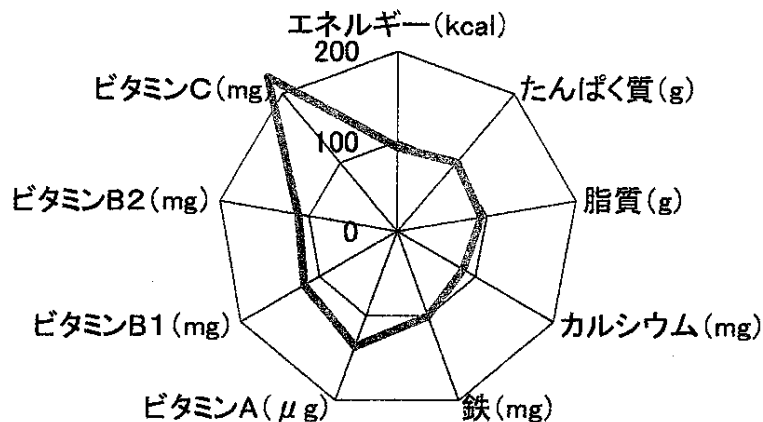
今年度はヒヤリハットについても件数等をまとめてみた。
 短時間の子ども見失いやアレルギー以外での食事誤配食など、大きな事故につながる可能性のあるヒヤリハットがあがっていた。
 どの事例もすぐに職員が気付く事ができたため事故には至らなかったがどのような場面で間違いが起きやすいかなど、くわしい内容についてを安全衛生委員会で話し合う事ができ事故防止の意識向上につながった。
 今後も、ヒヤリハットの記入は職員の事故への共通意識を持つためにも積極的にすすめていきたい。

ヒヤリハット内容	件数
クラスの人数確認不足	4
食事誤配食	2
給食の食材ミス・異物混入	2
保護者対応	2
ケガ	4
その他	3

栄養管理報告

3歳以上児	給与栄養 目標量	R3.4~R4.3平均 充足率(%)
エネルギー(kcal)	576	94
たんぱく質(g)	21.6	101
脂質(g)	17.9	94
カルシウム(mg)	261	84
鉄(mg)	2.5	100
ビタミンA(μ g)	202	136
ビタミンB ₁ (mg)	0.31	119
ビタミンB ₂ (mg)	0.36	111
ビタミンC(mg)	20	225

炭水化物エネルギー比(%)	55	101
脂肪エネルギー比(%)	30	90



給与栄養目標に対する充足率(%)

- ・カルシウムと脂質が不足したが、おおむねバランスよく摂取できた。おやつに牛乳をつけないときは、牛乳の代わりにチーズや煮干しを足し、昼食のフルーツをヨーグルトに変更してカルシウムを補うようにした。以前よりヨーグルトの日を増やした。
- ・クラスでは、子どもの食欲、体調により食べる量を大人が調整しているので、数字はあくまでも平均値である。
- ・野菜類を多く取り入れているため、ビタミン類が多くなっている。ビタミンCは過剰症もなく身体に滞在する時間が短いものなので十分に摂取できていることは子どもの為に大事な事なので継続する。
- ・炭水化物エネルギー比、脂肪エネルギー比は、適正であり、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。

給食活動

献立

一汁二菜の和食系の献立を中心にした。

主食は乳児は白米・幼児は7分つき米にしている。

副菜は和え物など野菜が多めだが、子ども達は良く食べており、毎日の残食量は今年度もかなり少なかった。子どもから「今日の給食おいしかったよ」といわれる事も多く励みになっている。

下膳時に、子ども達の食べ具合などをクラスから伝えてもらうようにしているので食べ易さなど改善され、残菜の少なさに繋がっていると思う。

今年度も新しいメニューや季節の食材を意識して取り入れるなどを心がけた。

継続する。今年度も引き続き、年長さんが毎月の誕生会メニューを順番で決めた。

張り切って話し合いながら、楽しいメニューができています。

献立表は毎月各家庭に配布している。アレルギー児にも個別対応したものを配布している。

調理

誕生会のケーキカットは、今年度も引き続き行い、1年に1回の自分の誕生月を子どもたちは楽しみにしてくれた。

乳児に必要な応じて、離乳食を提供するなど個別対応した。下痢や口腔疾患なども個別に対応した。担任の判断によるが、朝食を摂ってこなかった子どもに牛乳やヨーグルト等の軽食を提供した。今年度も、国産で出来るだけ安心な食材を使うように心がけた。

衛生

今年度から新型コロナウイルスが猛威を振るっていることもあり、例年以上に徹底した手洗い・健康管理はもちろん、衛生管理がきちんと行われるようにチェック表を活用した。

食育

前年度の評価・反省をふまえた年間食育計画をたてたが感染リスクを避け活動自粛。

アレルギー

卵アレルギー食の対応した。

お家の方からも、子どもが美味しいと言って喜んでいっているとされていて励みになっている。

防災対策

非常食は、子どもと職員のを3日分用意している。

非常食に必要なもの、多めに買っておいたほうが良いもの等、器具や道具など揃えたり具体的にします。

